

当院では、下記の通り【看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制】をとっております。

1 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善を要件とする入院料等の届出状況
(新規に届け出るものについては「新規届出」欄、既に届出を行っているものについては「既届出」欄の□に「✓」を記入のこと。)

新規 届出	既 届出	項目名	届出年月日	新規 届出	既 届出	項目名	届出年月日
☒	☐	夜間看護加算／看護補助・患者ケア体制充実加算 1・2・3 (療養病棟入院基本料の注12・注13) (該当するものに○をつけること)	2026年10月1日	☐	☐	看護補助加算／看護補助・患者ケア体制充実加算 1・2・3 (障害者施設等入院基本料の注9・注10) (該当するものに○をつけること)	年 月 日
☐	☐	夜間看護体制加算 (障害者施設等入院基本料の注11)	年 月 日	☐	☐	急性期看護補助体制加算 (対1)	年 月 日
☐	☐	夜間急性期看護補助体制加算 (対1)	年 月 日	☐	☐	夜間看護体制加算 (急性期看護補助体制加算)	年 月 日
☐	☐	看護職員夜間12対1配置加算 1・2 (該当するものに○をつけること)	年 月 日	☐	☐	看護職員夜間16対1配置加算 1・2 (該当するものに○をつけること)	年 月 日
☐	☐	看護補助加算 1・2・3 (該当するものに○をつけること)	年 月 日	☐	☐	夜間75対1看護補助加算	年 月 日
☐	☐	夜間看護体制加算 (看護補助加算)	年 月 日	☐	☐	看護補助体制加算 (対1) ／看護補助・患者ケア体制充実加算 1・2・3 (地域包括医療病棟入院料の注6・注9)	年 月 日
☐	☐	夜間看護補助体制加算 (対1) (地域包括医療病棟入院料の注7)	年 月 日	☐	☐	夜間看護体制加算 (地域包括医療病棟入院料の注8)	年 月 日
☐	☐	看護職員夜間12対1配置加算 1・2 (地域包括医療病棟入院料の注10) (該当するものに○をつけること)	年 月 日	☐	☐	看護職員夜間16対1配置加算 1・2 (地域包括医療病棟入院料の注10) (該当するものに○をつけること)	年 月 日
☐	☐	看護補助加算／看護補助体制充実加算 (小児入院医療管理料の注9・注10)	年 月 日	☐	☐	看護職員配置加算 (地域包括ケア病棟入院料の注3)	年 月 日
☐	☐	看護補助者配置加算／看護補助・患者ケア体制充実加算 1・2・3 (地域包括ケア病棟入院料の注4・5) (該当するものに○をつけること)	年 月 日	☐	☐	看護職員夜間配置加算 (地域包括ケア病棟入院料の注8)	年 月 日
☐	☐	看護職員夜間配置加算 (精神科救急急性期医療入院料の注4)	年 月 日	☐	☐	看護職員夜間配置加算 (精神科救急・合併症入院料の注4)	年 月 日

2 新規届出時又は毎年4月時点の状況について記載する事項
(□には、適合する場合「✓」を記入すること。)

2026 年 9 月 1 日時点の看護職員の負担の軽減に対する体制の状況

(1) 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制

ア 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する責任者	氏名: 牧之瀬 一二三 職種: 看護師
イ 看護職員の勤務状況の把握等	
(ア) 勤務時間	平均週 37.2 時間 (うち、時間外労働 0.2 時間)
(イ) 2交代の夜勤に係る配慮	☒ 勤務後の暦日の休日の確保 ☒ 仮眠2時間を含む休憩時間の確保 ☐ 16時間未満となる夜勤時間の設定 ☐ その他 (具体的に:)
(ウ) 3交代の夜勤に係る配慮	☐ 夜勤後の暦日の休日の確保 ☐ その他 (具体的に:)
ウ 多職種からなる役割分担推進のための委員会又は会議 (業務改善委員会)	開催頻度: 12 回/年 参加人数: 平均 13 人/回 参加職種(医師・看護師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士・検査技師 等)
エ 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画	☒ 計画策定 ☒ 職員に対する計画の周知
オ 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組事項の公開	☒ 医療機関内に掲示する等の方法で公開 (具体的な公開方法: 総合受付廻りに掲示、当院ホームページに掲載)

(2) 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容

ア 業務量の調整	☒ 時間外労働が発生しないような業務量の調整
イ 看護職員と他職種との業務分担	☒ 薬剤師 ☒ リハビリ職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士) ☒ 臨床検査技師 ☐ 臨床工学技士 ☒ その他(職種:管理栄養士、病棟クラーク)
ウ 看護補助者の配置	☐ 主として事務的業務を行う看護補助者の配置 ☒ 看護補助者の夜間配置
エ 短時間正規雇用の看護職員の活用	☒ 短時間正規雇用の看護職員の活用
オ 多様な勤務形態の導入	☒ 多様な勤務形態の導入
カ 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	☐ 院内保育所 ☐ 夜間保育の実施 ☒ 夜勤の減免制度 ☐ 休日勤務の制限制度 ☐ 半日・時間単位休暇制度 ☒ 所定労働時間の短縮 ☒ 他部署等への配置転換
キ 夜勤負担の軽減	☐ 夜勤従事者の増員 ☒ 月の夜勤回数の上限設定

(3) 夜間における看護業務の負担軽減に資する業務管理等

(□には、適合する場合「✓」を記入すること。)

① 交代制勤務の種別 (□3交代、 □変則3交代、 ☒2交代、 □変則2交代)

② 夜間における看護業務の負担軽減に資する業務管理

	1)夜間看護体制加算 (障害者施設等入院基本料の注11)	2)夜間看護体制加算(急性期看護補助体制加算/地域包括医療病棟入院料注8)	3)看護職員夜間配置加算(12対1配置1・16対1配置1(地域包括医療病棟入院料の注10を含む))	4)看護補助加算(夜間看護体制加算)	5)看護職員夜間配置加算(精神科救急急性期医療入院料の注4/精神科救急・合併症入院料の注4)	6) 1)から5)のいずれかの加算を算定する病棟以外
ア 11時間以上の勤務間隔の確保	☐	☐	☐	☐	☐	☒
イ 正循環の交代周期の確保(3交代又は変則3交代のみ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
ウ 夜勤の連続回数が2連続(2回)まで	☐	☐	☐	☐	☐	☒
エ 暦日の休日の確保	☐	☐	☐	☐	☐	☐
オ 早出・遅出等の柔軟な勤務体制の工夫	☐	☐	☐	☐	☐	☐
カ 夜間を含めた各部署の業務量の把握・調整するシステムの構築	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(ア)過去1年間のシステムの運用	(☐)	(☐)	(☐)	(☐)	(☐)	(☐)
(イ)部署間における業務標準化	(☐)	(☐)	(☐)	(☐)	(☐)	(☐)
キ 看護補助業務のうち5割以上が療養生活上の世話	☐			☐		☒
ク 看護補助者の夜間配置			☐			☐
ケ みなし看護補助者を除いた看護補助者比率5割以上	☐	☐	☐	☐		☒
コ 夜間院内保育所の設置	☐	☐	☐	☐	☐	☐
サ ICT、AI、IoT等の活用による業務負担軽減	☐	☐	☐	☐	☐	☐
該当項目数	()	()	()	()	()	
(参考)満たす必要がある項目数	4項目以上	3項目以上	4項目以上	4項目以上	3項目以上	